

一般質問の順序及び質問の概要

12月5日（金）午前10時（場所 小野町役場 2階 議場）

順序	質問議員	質問内容及び要旨
1	緑川久子議員	1 新庁舎移転に伴う行政サービスの利便性について ①「町民窓口センター（出張所）」の設置の検討を 庁舎の移転に伴い、高齢者など交通手段を持たない住民の利便性を図るため、住民票や各種証明書の交付など、役場まで出向かなくても済む程度の身近な手続きや相談ができる「町民窓口センター」の設置を検討してはどうか、伺いたい。
		2 統廃合後の小野高校の校地・校舎について ①校舎などは県が解体し、更地での利活用を 統廃合後の小野高校について、県は町に無償譲渡し、5～6億円程かかる解体費用を負担することや最大3億円の補助をする。町が校舎などを利用した場合、多額の改修費や維持管理費がかかることから、土地のみの譲渡をうけ、更地にして利活用を検討すべきと考えるが、町の考えを伺いたい。
順序	質問議員	質問内容及び要旨
2	國分順一議員	1 防災行政について ①崖崩れの危険性について 現在、気候変動による災害が多く、局地的な集中豪雨などの増加により土砂災害が全国で発生している。今後、土砂災害による崖崩れの危険性をなくすための対応策は考えているのか、伺いたい。
		②災害時の指定避難所について 災害が発生し、避難しなければならない時、身近な場所にあり、移動しやすい施設と考えた場合、現在の指定避難所の見直しをするべきと考えるが、町の考えを伺いたい。
		③要配慮者の避難誘導について 移動が困難な方々を避難誘導させるためには、車いすやストレッチャーなどを搭載できる特殊な車両が必要になると思われるが、今後避難しなければならない事態が発生した時の対策は考えているのか、伺いたい。
		2 消防行政について ①平田村消防団との連携について 本町では、消防団員が減少し新入団員の確保も困難な状況にある。大規模な森林火災や行方不明者捜索時などに小野町と平田村の消防団が隣接する自治体として連携し合える環境を構築すべきと考えるが、伺いたい。
		3 一般行政について ①町民から寄せられた質問、意見に対する対応について 町に対してどのような質問や意見が寄せられ、どのような対応をされたのか、また時間を要する場合は経過などの報告も含め広報紙に掲載するなど、町民の方へ知らせることも考えてはいかかと思うが、伺いたい。

順序	質問議員	質問内容及び要旨
3	古崎泰介議員	1 一般行政について
		①情報を専門に扱う部署の設置について 国においては国家情報局のような省庁の設置が検討されているが、高度な情報社会の現代では町としても、町が不利益を被る事態を防ぐべく様々な情報を一元的に精査する部署が必要であると考えているが、町の考えを伺いたい。
		②一元的な相談窓口の設置について 一元的な相談窓口が必要だという意見がある。特に転入者や外国人などにも相談先が分かりやすく、必要な支援や行政サービスを入口として重宝されるだろうと考えるが、町の考えを伺いたい。
		2 学校教育について
		①小野中学校の設備、環境整備について 中学校の設備改善を求める一例として、下校時に正門からの坂に外灯がなく暗く不安だという意見がある。このような生徒や保護者からの指摘や要望が環境の改善にどのように活用されているのか伺いたい。
		②部活動顧問の報酬について 地域クラブ活動への移行が進む中で、今後強いチームには求心力が働くとするれば、良い指導者についてもらうために必要な報酬を検討すべきと考える。そこで現状として、顧問に支払われている報酬を伺いたい。
		③スクールバスについて 利用者からはサービスの過不足が指摘されている。現行の乗車基準に従った運用だけではなく、通学路の実態や生徒・保護者からの要望・意見を調査し、より満足度の高いサービスに反映してはいかがか、伺いたい。
		3 子育て支援について
		①「キラッと☆おの」の利用方法について 仮に学童保育は保護者の就労有無に関わらずに利用許可が出れば、「キラッと☆おの」は、家庭と学校以外の第三の居場所として、通学に不安がある児童なども頼りにする施設として発展すると思われるが、町の考えを伺いたい。

順序	質問議員	質問内容及び要旨
4	會田百合子 議員	1 環境整備について
		①小野公園の管理計画について ふくしま植樹祭で植えられたモミジ、サクラ、アジサイその他の苗木を育てていく上で、小野公園においては、どのように管理計画されているのか伺いたい。
		②ボランティアの募集について ふくしま植樹祭で植樹に参加した者として、育樹を見守りたいと考えている。整備していく中で一般の人でもできる作業には参加したいと考えるが、ボランティアの募集は計画しているのか伺いたい。
		2 一般行政について
		①プラスチック資源ごみの量について 指定袋に入れて出される量に対して、どのくらいの量が資源ごみになっているのか伺いたい。
		②資源とごみ分別の手引きについて 小野町では、資源とごみ分別の手引きが発行されていて詳しく書かれているため参考にしている。たむらひサイクルプラザでは、プラスチックでも資源ごみにならないものもあったが、手引きに内容を追加してはどうか、伺いたい。
		3 クマ出没から命を守る地域体制の構築について
		①被害状況と初動対応体制について 本町におけるクマ出没件数、人身被害および農作物・家屋等の被害、初動対応体制の現状について伺いたい。
		②段階的なリスク管理について 本町として学校周辺・隣接自治体・森林部など出没状況に応じて段階的なリスク管理を行う考えがあるか伺いたい。
		③関係機関との共有について クマ出没情報を、周辺自治体を含め教育委員会・警察・消防など関係機関でどのように共有し、登下校の可否や避難判断の基準に反映するのか伺いたい。
		④登下校の安全確保について 保護者による送迎やバス運行だけでなく、音を活用した予防的対策（クマ鈴、自転車ベル、放送設備等）も有効だが、低コストで現実的な対策を本町の登下校安全計画に位置付ける考えがあるか伺いたい。
		⑤地域体制について 地域猟友会や民間事業者との協定締結、訓練体制、装備支援の現状、緊急対応に携わる担い手の確保に向け、報奨金の単価引き上げや危険手当の新設など実効的な支援策を検討しているか伺いたい。
		⑥報奨金水準や待遇改善について 支援を講じるにあたり、捕獲従事者や現場関係者に対して報奨金水準や待遇改善に関する意見聴取を行っているか伺いたい。

順序	質問議員	質問内容及び要旨
5	羽生洋市議員	1 一般行政について
		<p>①鳥獣被害対策実施隊の担い手の確保について</p> <p>鳥獣による農作物等の被害は年々増加傾向にあるが、鳥獣被害対策実施隊の高齢化は他の市町村と同様の状況にある。昨年一般質問で「広報等により加入促進を図り、他自治体の事例等の調査研究により新規隊員の確保につなげていく」との回答をいただいたが、その後の状況について伺いたい。</p>
		<p>②農道等による安全対策確保について</p> <p>国道349号線（飯豊字鎧摺～大竹）は、大型トラック等の交通量が激増している。この地域での農地へのトラクターの乗り入れ、コンバインの運搬、軽トラへの粃の積載等を行う際は生命の危機を感じながらの作業となっている。安全・安心な町作りの観点から農道等の危険を排除することが必要と考えるが町の考えを伺いたい。</p>
		<p>③町道に接する斜面の草刈について</p> <p>町道の斜面（町道の一部）の雑草対策は、町道等に接した住民が草刈を実施している。高齢化が急激に進展している町として速やかな対策が求められる。特に、高齢化により田の耕作を請け負った方に道路斜面の草刈もお願いする事になっており、草刈を依頼している皆さまにとって大きな負担となっている。町として、どの様に考えているか伺いたい。</p>

《傍聴される皆様へ》 傍聴にあたっては、次のことをお守りください。

- 談笑したり、むやみに席を立ったりしないで、静かに傍聴してください。
- 携帯電話は、電源を切るかマナーモードに切り替えてください。
- その他、会議の妨害となるような行為（飲食・喫煙・写真撮影等）はしないでください。
- 係員の指示に従ってください。